

【原 著】

教師コンサルテーションにおけるPAC分析の臨床的利用

森本 篤

(研修相談員・岡山県立倉敷青陵高等学校)

現在の学校における教育臨床活動では、コンサルテーションはカウンセリングとともに大きな比重を占めている。本研究では教師コンサルテーションにPAC分析を導入し、以下の2点を検証することを目的とした。①PAC分析は教師コンサルテーションにおいて有効に機能するか(研究1)。②どのような修正をおこなえば教師コンサルテーションにふさわしい実践技法となり得るか(研究2)。

研究1の結果、PAC分析は教師コンサルテーションで基本的に有効に機能することが示唆された。

研究2では、研究1で指摘された課題を克服すべく考案した修正法(PAC-A.メソッド)による教師コンサルテーションの実践研究をおこなった。その結果、PAC-A.メソッドを用いた教師コンサルテーションが実践的な効果を持つことがうかがえた。

キーワード：PAC分析，コンサルテーション，見立て，気づき

第1章 研究の目的と方法

1. 問題意識 ―学校コンサルテーション―

カウンセラーに必要な技法としては、大きくカウンセリング技法とコンサルテーション技法の2つがある^{注1}。前者についてはいくつも技法が提言されているが、後者については、わが国で本格的に実践研究がおこなわれ始めたのが1990年代という歴史の浅さもあり、技法上の提言はほとんどない。

石隈ら(1997)が小学校・中学校・高等学校の教師約1000名を対象とした調査で、「子どもとの関係や同僚との人間関係でスクールカウンセラーに相談したい」という教師が半数以上を占めていたことが報告されている。

そうした現状をふまえれば、教師コンサルテーションに有効な技法の提案をおこなうことは、学校での教育臨床活動に資するところがあるのではないか。

(注1) カウンセリングとは、「面接という特別な場において、しかも直接の人間関係を通じておこなう援助活動」である心理臨床で「もっともよく用いられる方法や技術」のこと。「専門家であるカウンセラーが、基本的に共感的態度を持ち、主に言葉を媒介にした話し合いによって、クライアントの問題を理解しその解決を図るために工夫された心理面接法」である。(日本心理臨床学会,1991,p20.による)

コンサルテーションとカウンセリングの差異については、渡辺(1996)の示唆に基づいて述べると以下ようになる。

①コンサルテーションは専門家の間で行われるプロセスであり、解決すべき問題を持っているクライアントを援助するために、別の専門家の専門知識を必要としている場合に起こるプロセスである。

②カウンセリングが問題解決への直接的介入であるのに対して、コンサルテーションは「間接的介入行動」である。換言すれば、カウンセリングが二者関係における介入であるのに対し、コンサルテーションは三者関係の介入である。

③コンサルティの「自分の職務を有効に遂行する上での困難さ」が対象なのであって、心理的問題ではない。

2. PAC分析とコンサルテーション

鶴養・鶴養（1997）の指摘のように、コンサルテーション過程で重視されるものは、①問題となっていることならについてのコンサルティのイメージの意味を明確にしていくこと ②コンサルタントからの働きかけを得て、コンサルティのなかで創造的で活発な想像を促進し、両者の間で具体的な手立てを検討していくこと の2点である。

認知・イメージ構造を明確化していく方法として、内藤（1993）が開発したPAC分析がある^{注2}。PAC分析は、「イメージを意味あるものとして味わう」「コンサルティとコンサルタントとの間で共感的・創造的な理解を促進する」などの機能も内包しており、コンサルテーションにこの技法を適用してみてもどうか、と筆者は着想した。

内藤（1993）でもPAC分析の臨床実践における有効性には触れられている。井上（1998）は2事例を通し、PAC分析のカウンセリング過程での有用性を11の機能において明らかにしている。

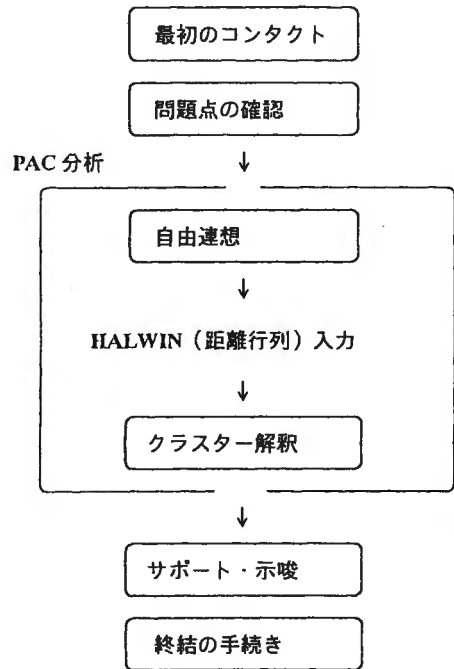


図 1

（注2）PAC分析のPACとは、Personal Attitude Construct（個人別態度構造）の略称であり、もともとは個人別に態度構造を測定するために内藤（1993,1994）によって創造・開発された研究法である。この分析法は、①当該テーマに関する自由連想（アクセス）、②連想された項目間の被験者による類似度評定、③類似度距離行列によるクラスター分析、④被験者によるクラスター構造のイメージや解釈の報告、⑤実験者による総合的解釈を通じて、個人ごとに態度やイメージの構造を分析する手法である（内藤,1997,p.15）。

その手続き（内藤,1994,1997）は、①刺激語の決定、②カード記入による連想反応語の生成と連想順位・重要順位の同定、③各反応語の対の類似度評定による類似度距離行列の作成、④クラスター分析によりデンドログラム（樹形図）を作成、⑤樹形図の各項目と全体の印象・下位構造について被験者が解釈、⑥実験者によるクラスターの命名と総合的解釈、の各ステップをふむ。PAC分析の特徴は、下位技法として、“自由連想”“多変量解析”“現象学的データ解釈技法”の三つを組み合わせたものということができる（内藤,1997,p.15）

3. 研究の目的と方法

目的 本研究では、学校現場での教師コンサルテーションにPAC分析を適用し、①PAC分析はコンサルテーションに有効に機能するか ②①を踏まえ) どのような修正をおこなえば学校コンサルテーションにふさわしい技法となり得るか の2点について検証することを目的とする。

方法 複数ケースを通しての実践研究 (multiple case study) とする。

第2章 研究1 PAC分析の教師コンサルテーションへの適用と課題

1. 内藤原法 (1997) の手法に沿って実施した6例の概要

以下に各例の概要を示す。() 内は各コンサルティの性別・年齢である。

- a (男性・30代) クラスタ解釈の過程を通じて、生徒指導に対する自信を回復した。
- b (女性・50代) 連想項目の1つ (問題点) を解消する、具体的な方策が立てられた。
- c (女性・40代) 問題点を語り検討する中で課題が整理され、前向きの気持を持てた。
- d (女性・30代) クラスタのまとまるイメージの検討を通し今後の対処方法を得た。
- e (女性・20代) 本人の直接抱える問題でなく深まりにくかったが一応整理はついた。
- f (男性・30代) ニーズがカウンセリングであると判明したので、3回目で中断した。

2. 概括と分析

1) コンサルテーションにPAC分析を適用した6例のうち、a・b・c・d 4例においてコンサルテーションの目的はそれぞれ果たされたといえる。(a: 自信の回復 b: 方策の立案 c: 気持ちの整理 d: 対処方法)

2) PAC分析は「コンサルティ中心の管理的コンサルテーション」にも適用される (例bより)。

3) PAC分析によってコンサルタントの (技術的) 専門性が保障される。

4) PAC分析によってコンサルテーションの面接の進め方 (procedure) が構造化される。

3. 課題

1) クラスタ解釈については、内藤原法のイメージ分析を主目的としたPAC分析手順では、①コンサルティの心情の受けとめ ②個々の連想項目のイメージの確認 の2点が十分におこなわれ

なかった。これらの点についてコンサルテーションの技法としての修正が必要である (コンサルテーション過程の中の「見立て」での有効性を高めることがPAC分析の特徴を生かすことになる)。

2) 当該問題についてのコンサルティとは異なる視点の呈示 (「気づき」を促すこと) がさらに求められる。

3) 連想刺激の作成のための技法が必要である。

4) 20前後を大きく超える反応数の処理を検討する必要がある。

第3章 研究2 PAC-A メソッドで実施した教師コンサルテーション

1. PAC-A メソッドの基本理念と作成方針・特徴

作成方針

- ①見立て (assessment) に有効な技法であること (基本理念)
② “気づき (awareness)” に有効な技法であること (作成方針)

PAC-A.メソッドの特徴

1) デンドログラム析出後 (第2回目) のはじめに、各項目それぞれについてイメージの内容を尋ねる (心情面もここで受けとめる)

2) 1) に引き続き、デンドログラムをコンサルティに呈示する。当該問題へのかかわり方

の、コンピュータによる「視点」を示すことでコンサルティの“気づき”を促進する。

3) 連想刺激の作成については、コンサルティ主体の、ことがらに焦点をあてたもの、として次の形式でおこなう。

自分 (コンサルティ) の《① 》に関する【② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠

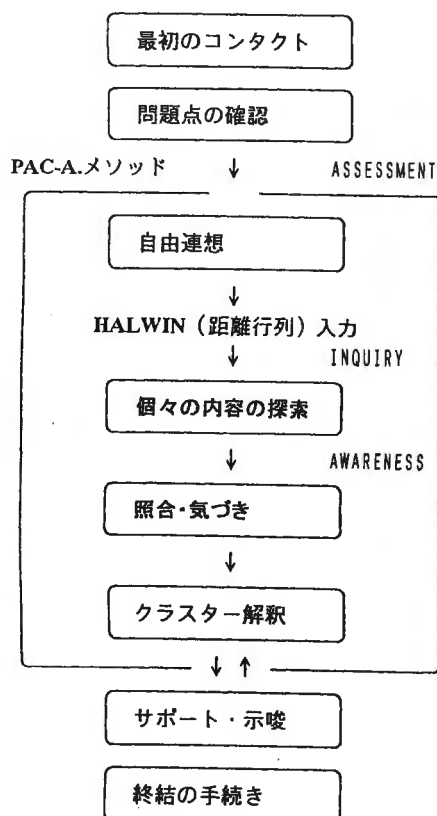


図2

典型例 (C) のINQUIRY (個々の連想項目の内容確認)

研究2の典型例 (C) におけるB先生の連想項目のうちの3つを下に示す。

…のあとの言葉はB先生のコメント、〈 〉は筆者 (コンサルタント) の発言である。

①言いたいことを言いたくない (筆者注: B先生がここに実際に波線のアンダーラインを施した。) …自己表現したくない。知られるのがいや。知られたらいや。相手を信頼していない。居場所がない。

⑪お局様 (こわい人) …5年担任の女性。ホンネをはっきり言う。何を考えているか分からない。1学期間、和気藹々という経験をしていない。5月には、「仕事を辞めてもいいかな」って初めて思った。自分のことは話せない。

⑫授業のやり方…授業を楽しくしたい。生徒との関係は悪くはないんです。〈ここはポイントになりそうですね〉そうですね。生徒とのかかわり、これを2学期以降、プラスにできたらいいな。教材研究しようっと。活路を見いだしたい。

典型例 (C) におけるクラスター (樹形図のまとまり) 解釈

研究2の典型例 (C) での、コンサルティ (B先生) とコンサルタント (筆者) による間主観的なクラスター解釈の逐語記録 (部分) を以下に示す (Ce:コンサルティ, Ct:コンサルタント)。なお、各番号は時間経過に沿う。

Ct 4: これなど (11) が、柱になって、それに (他の項目が) くっついていて、と。

Ce 5: くっついてるわけですね。…私、これ (11「お局様」) が柱になっていると思っていたもので、今ちよつとびっくりしました。

Ct 5: この「お局様」にくっついてる。

Ce 6: 結局、その「お局様」っていうのが、この人個人だけじゃなくて、すべての人が、その (うん) 「お局様」的な、その、自己表現した時にしっぺ返しを食うかもしれないっていうのが、根底にあるんだな、っていうのが、これを見ながら思いました。(はあはあ) だから、言いたくないし (なるほどな) うわべと本音が違うから、専科に対して、私にも、表面で「いいよ」と言ってくれてることと、あとが違うんじゃないかっていう不安は、やはり、その、全員に対する怖さがあるんだろうな。代表格が「お局様」だけど、この学校の人は信頼できんぞっていうのが根底にきつとあると思います。

Ct 6: つまり、その、学校の中の、今の人間関係の象徴的な人が、この「お局様」っていう (はい) …

☆

Ce 8: うん、たぶん、だからね、森本先生に、(項目間の距離を) ぽっぽぽっぽと聞かれた時にね、私ね、「お局様」、個人だけじゃなくて、(ええ) いろんな人間を、その、人間関係の代表格を「お局様」ってとらえて (はい) たぶん答えてたように思います (ああ、な

るほどね)。で、混乱して、途中でえーっ、「誰のこと
言ってたのかな」って思って混乱したけど(はあはあ)、
これはね、「象徴」(象徴)。人間関係の象徴。

☆

Ct.16: 次の…

Ce.16: 次のブロックは、「授業のやり方」ですね。(こ
こ(3)から、ここ(15)までですね)これは、見事だ
な、って思います(笑)。(見事っていうのは?) 見事
に、あの、この、「担任の先生」っていう、この、私に
対する「担任の先生」の考え方は、授業に関して、だか
ら(うん、あ、授業ですね)授業ですから、「授業に対
するフォローがない」っていうのは、「不安」につなが
っていつてるわけです(うん)。で、その「不安」、授
業のやり方はこれでいいかどうか、っていう。

Ct.17: ああ、そうか。これは「ストーリー」になってる
んですね。

Ce.17: そうです。そして「研究不足」っていうのは、直
接、授業とかかわりがないけど、「なーにを今ごろしょ
ーんじゃ」っていう「不満」(笑)(あまりにレベルが
低いよ、っていう?) (笑)レベルが低いっていうのも
あるけど、こんなことでほんとにえーんかな、子どもの
ためになるのかな(子どものために)、そっちが強い。
で、「不満」です。その、「不満」は「授業のやり方」
が一筋縄ではいかないかもしれない…。ここが、ひとつ
ストーリーができてます。

で、人間関係っていうのは、これを見て、「授業のや
り方」にくっついて「お局様」がいつてるっていうこと
は(そうですね)、「授業のやり方」を自分なりにある
程度、あの、こうしていけばいい、というのが固まったら
(ええ)こちらへ持ってくる可能性もあるな、とか。
Ct.18: ああ、そうですね。こちらへ、のストーリーも展
開しそうですね。これ(授業のやり方)が変わると
(はい)こっち(不安)も変わるかもしれない。

Ce.18: はい。ただ、こっちの、森本先生と話をした中で、
いちばん「対・子ども」「授業」、っていうのが重要(は
い、これが)。ここに自信が持てるようになったら、ほ
かのことで生き生きとした自分を取り戻せるようにな
るかなあ。

☆

Ce.47: これが、柱ですから。いま、だから、2学期が
んばるぞっていう気に少しずつなっています。

Ct.48: ま、この(授業の)時はそんなにややこしい人間
関係はそんなに考えなくていいですもんね。

Ce.48: 子どもとの人間関係、子どもの幸せを願って、じ
ゃないですけど…。

Ct.49: これはしかも、子どもに一生懸命かわればわか
かるほど、それこそ子どもは(そうです)こう、応えて
くれるから(そうです、応えてくれます)大人ほど不純
じゃないから、よけいなことを考えないから…。

じゃ、これがやはりいちばんメイン、と。

Ce.49: は。ここは、柱ですね。

Ct.50: あと、こちらのほうが、それによって変わる可能
性がある、と(可能性がある)。ま、これ以上マイナス
にはたぶんならないだろう。

Ce.50: そうそうそう。で、ここではたぶんもの見方が
授業について、変わる可能性が高いから、そうすれば
今の職場に対する見方も変わる可能性はある、と。

Ct.51: じゃあ、希望が少し、こう…

Ce.51: ちょっと出てきました。はい。

☆

Ce.59: 言うことではっきり、プラス、確認されることで
ははっきりする。

Ct.60: ああ、言うことも(言うことも)はっきりするわ
けですね。ふうん。

Ce.60: べらべらべらべら言ってる中で、ああそうか、こ
ういうことで、自分はそこにとらわれがあるんだな、っ
ていう…それに対する質問が来ることで、それがクリア
ーになっていく。

それから、この分析をしているのを見て、やっぱりそ
の、かたまり、っていうのが、枠ができましたので、人
間関係とか、授業に関してとか、学校全体の環境に対し
て、とか、すごくあの、気持ちの中の整理がついて。

Ct.61: ああ、いま、自分の問題は3つなんだ、と。

Ce.61: 3つなんだ、と。(うん)で、その中でも自分自
身が変えていくことのできる(あ、そうか)可能性のあ
るものがわかるんです。で、これを柱にして、他のとこ
ろが変わる可能性もあるし、変えていくことのできる見
通しもたつ(こっちは、まあいいや、という)もう、も
ういいや、こりや。ここにこだわらなくともいいやっ
て。

Ct.62: ああ、いろいろなことをばあーっと思ってたんだ
けど、ここはもう、エネルギーを(そうそう)、という
重要順がつくわけですね。

☆

Ce.66: それから、いまだぶん問題なのは、自分自身に自
信がなくて、その、今までの授業とか、身につけてき

第4章 総合的考察と今後の課題

1. 総合的考察

①PAC-A メソッドの効果 (1)・(2)は原法とも共通)

1) PAC分析の導入によって、コンサルタントの技術的専門性が保障される。

PAC分析の導入は、同じ学校の教師カウンセラーによっておこなわれるコンサルテーションも有効に機能することが示された。これは、コンサルテーションの前提となる「コンサルタントはコンサルティと異なる(技術的)専門性を持つこと」をPAC分析の導入が保障することを示唆するものであり、重要な点として指摘できるだろう。

2) PAC分析により、コンサルテーションの面接の進め方(procedure)が構造化される。

研究1(a・典型例)で当該問題とは異なる方向へ話が進みだしても、「ま、でも、今回のテーマは自分のクラスの生徒へのかかわりかたについてだから、そっちはまた別の機会に聞いてください」と言われたことが象徴的である。一般的なコンサルテーションとは異なり、PAC分析の枠組みがあるために、コンサルテーションにおける面接過程の構造化が自律的になされていることが示唆された。

3) PAC分析は、漠然とした問題意識を整理していくことに適している。

複数の事例において、錯綜した感覚が整理されたり、問題の核心をつかめたりしている。

これは、特にコンサルテーションの診断(assessment)過程で意義を有することを示すものであろう。

4) 連想刺激の作成については、コンサルティ主体にカウンセリング的に主訴を聞き、それに基づいて作成するという方法で、よりスムーズに、かつPAC分析をすすめるうえで妥当性の高いものを作成することが可能になる。

5) 各連想項目について、まずそれぞれの内容やそれに付随したコンサルティの感情を尋ねるこ

とはコンサルティに問題の枠組みを考えてもらうことになる。

そののちにクラスター分析の結果(デンドログラム)を呈示し、認知のしかたのずれを確認していくことで、コンサルティの当該問題についての視点の転換(解決志向の気づき)がより促進される。

6) 連想項目数に一定の制限を加えた場合でも、PAC分析は有効に機能する。

②PAC-A メソッドの限界

PAC-A メソッドの限界としては次の3点があげられよう。

1) 距離行列作成作業が煩雑である。

2) 緊急性を要するコンサルテーションには不適である。

3) コンサルテーションの面接の進め方が構造化されることは、時としてコンサルタントの方針を反映させにくくする。

2. 今後の課題

1) コンサルタントからの、コンサルティに対する積極的な解決案の呈示をどのようにおこなうか(より積極的なコンサルテーション活動をおこなうための技法の探索・開発)

2) PAC-A メソッドが適合するコンサルテーションと適合しないコンサルテーションの見極めの方法

【文献】

井上孝代 1998 カウンセリングにおけるPAC分析の効果心理学研究 第69巻 第4号, 295-303.

石隈利紀 小野瀬雅人(代表) 1997 スクールカウンセラーに求められる役割に関する学校心理学的研究 ―子ども・教師・保護者を対象としたニーズ調査より― 文部省科学研究成果報告書(課題番号 06610095)

内藤哲雄 1993 個人別態度構造の分析について

信州大学人文学部人文科学論集 27 43-69

内藤哲雄 1994 個人特有の態度構造を測る —
態度の心理学— 浅井邦二 (編) こころの測定法
—心理学における測定の方法と課題— 実務教
育出版 Pp. 172-193.

内藤哲雄 1997 PAC分析法入門 — “個”を科学す
る新技法への招待— ナカニシヤ出版

日本心理臨床学会 1991 心理臨床学研究 9 特別
号4. 心理療法の技術とレベルの内容

鵜養美昭 鵜養啓子 1997 学校と臨床心理士
—心育での教育をささえる—ミネルヴァ書房

渡辺三枝子 1996 カウンセリング心理学変動する
社会とカウンセラー ナカニシヤ出版